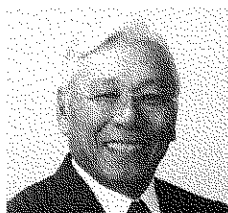


ごあいさつ

社団法人ニューガラスフォーラム 会長 鈴木 哲夫



かねてより、念願でありましたニューガラスフォーラム社団法人化は、ニューガラスが、まさにニューフロンティア時代へ向けて一步を踏み出したことを意味するもので、私ども産業界にとっては、このうえもない喜びであります。

ニューガラスは西暦1990年代から21世紀にかけて、先端産業の基礎となる重要な素材として、情報・エレクトロニクス・オプトエレクトロニクス・エネルギー・宇宙・海洋・バイオテクノロジーなどの分野で発展が見込まれ、かつ、視野の広い産業領域に発展していく可能性を持っております。

ニューガラスという将来性の大きな産業分野を発展させるためには、産・官・学の緊密な協調体制および、物理学・化学・電子光学・精密工学などの専門分野との学際的な交流、ユーザーと供給者の業際的な協調、国際協力・国際交流が不可欠であります。

この三つの交流が同時に進展することがニューガラスを発展させるキーフアクターであります。ニューガラスフォーラムは、このような学際、業際、国際の強力なネットワークを構築する中核的な役割を果たすと同時に、開かれた交流の場と、多様な情報サービスを提供することが使命であります。

最近、我が国の科学技術政策が基礎研究を重視、奨励する時代に入ってまいりましたが、大学、公立研究機関の基礎研究が産業界のニーズに必ずしもうまく噛み合っておらず、両者の橋渡しをする機関もありません。またニューガラスの応用・開発・工業化・市場規模の拡大には、ニューガラスに対する信頼性の確立とともに規格化・標準化を確立できる機関が必要になってまいります。こうした問題解決には産・官・学の協力によりナショナルセンターの設立が望まれます。

ニューガラスフォーラムの社団法人移行を契機に、国のより一層のご支援と研究体制、環境の整備が迅速に進展することを希望するとともに、我々もニューガラスが国民生活文化の向上に寄与することができるよう努力を重ねてまいりたいと存じます。

今後とも皆様のご協力とご支援をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。